

三菱ダクト用換気扇

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

ボディ	鋼板		ステンレス	
形名	VD-10ZJ ₁₂	VD-10ZJ ₁₂	VD-10ZSJ ₁₂	VD-10ZT ₁₂
	VD-13Z ₁₂	VD-15Z ₁₂	VD-15ZP ₁₂	VD-13ZT ₁₂
				VD-15ZPT ₁₂

取扱説明書・据付説明書

お客様用／販売店・工事店様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。

コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けないでください。

(安全や機能の確保ができません)

お客様

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
- なお、ご使用の前に「1. 安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

本冊子は据付け後、必ずお客様へお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。形名表示位置は「2.各部のなまえ」を参照してください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷などに結びつく
可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家屋・家財などの
物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



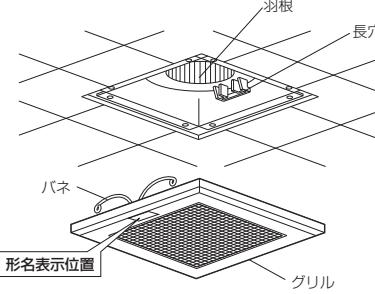
警告

	●内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。		●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
	●浴室にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。		●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用した場合に 感電の原因。
	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。		●異常・故障時には、直ちに使用を 中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 (異常・故障例) 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。		●メタルラス張り、ワイヤラス張り、 または金属板張りの木造の造営物に 金属製ダクトが貫通する場合、 金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、 金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合に発火の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。		●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電した場合に感電の原因。
	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。		

！ 注意

	●換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
	●直接炎のあるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。		●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。
	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
	●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。		●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
			●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用など）をかけないでください。(グリル・羽根の破損・変質の原因となります)
- 高温（40°C以上）になるところに据付けられていないか確認してください。(製品の変形や早期故障の原因となります)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装ががれや故障の原因)

3. 使用方法

！ 注意

- 換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。

- | | |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | ●浴室使用においては、入浴時以外は浴槽に風呂フタをしてください。
(浴室・換気扇のいたみを少なくします) |
| | ●給気口があるか確認してください。(効果的な換気を行うために必要です) |
| | ●浴室使用においては、冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがあります。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。 |
| | ●この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを設けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時に、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。 |

上手な使いかた

- 浴室では入浴後、湯を抜くか、浴槽に風呂フタをして3時間以上換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室保全に役立ちます。

4. お手入れのしかた

グリルにはこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。

6ヶ月に1度を目安に、グリルの清掃をしてください。

※清掃頻度は目安であり、使用環境により異なります。

△警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

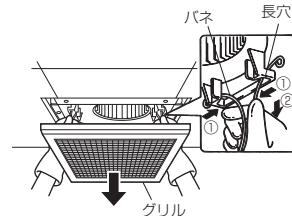
△注意

お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

- お願い**
- 洗剤などをご使用の場合は、台所用中性洗剤をご使用ください。
ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため
使用しないでください。
 - 台所用中性洗剤は原液のまま使用せず、洗剤に記載の使用量の目安に従い、
薄めてご使用ください。
 - 洗剤が残らないようによくふき取ってください。
 - 2.各部のなまえの** **ご使用にあたってのお願い** **に記載の溶剤・洗剤を使用しない**
でください。

1 グリルをはずす

- グリルを両手で少し下げ、バネを
にぎって本体内部の長穴からはず
します。
- バネは片側ずつ取りはずすとス
ムーズにはずれます。



2 汚れを取り

- グリルの汚れは、台所用中性洗剤
を浸した布でふき取り、洗剤が残
らないように乾いた布でよくふき
取ります。
- グリル以外の汚れがひどい場合および振動や騒音が発生した場合は、お買上げ
の販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。



3 グリルを据付ける

- お願い**
- グリルを据付ける前に、バネの固定部に割れ・ひびなどの破損がないか
確認してください。
 - バネを長穴に差し込み、グリルを軽く上に押し上げます。
 - バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。

5. 修理を依頼する前に

このような動作や事象は異常ではありません。

- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多い時はグリル
から水滴が落ちる場合があります。
- また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
- この換気扇は風圧式シャッターを設けています。急激な
ドアの開閉や外風が強い時に、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。

当社ホームページの「よくあるご質問FAQ」もご確認ください。
(http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/270)



このような症状があれば点検してください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| • コントロールスイッチを入れても換
気扇が運転しない。 | • ブレーカーが切れていますか？
停電ではありませんか？ |
| • 換気されない、換気量が不足する。
• 運転中に異音がする。 | • 羽根が回転しているか確認してください。
運転音が小さく、運転しているか分かりにくい場合があります。 |
| • グリルから室内に風が吹き返す。
• 運転中に振動がする。 | • 羽根に異物が付着していませんか？
給気不足ではありませんか？
(給気ガラリ、給気口は開いていますか？) |
| • グリルがはずれかけている。
または傾いている。 | • グリルから室内に風が吹き返す。
• グリルや本体が確実に据付けられていますか？ |

電源を切って
必ず販売店に
点検・修理
を依頼してく
ださい。
費用については
販売店に相
談してください。

点検・
処置を
しても
直らない
場合

6. アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
- モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

●修理料金は

技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

- 品名 大クト用換気扇
- 形名 VD-〇〇〇〇
- お買上げ日 ○年 ○月 ○日
- 故障の状況 （できるだけ具体的に）
- ご住所（付近の目印なども）
- お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合
(転居や贈答品など)、
お客様へお問い合わせください。

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただいた個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。
お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品の運送り扱いに関するお問合せ（ご依頼）
ご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報
のおおらせ等の利用のために、お合わせ（ご依頼）
上記時間帯以外のご相談（受付のみ）
三菱電機お客様相談センター
フリーダイヤル 0120-139-365（無料）
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659（有料）
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号
フリーダイヤルご利用いただけない場合は TEL (03) 3414-9655（有料）

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

0120-726-471（無料）

携帯電話・PHS対応

三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659（有料）

受付時間365日24時間

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

●三菱電機修理受付センター

0120-56-8634（無料）

http://www.melsc.co.jp

携帯電話・PHSの場合は
空メールの送り先 : fc8634@melsc.jp

または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。

受付時間365日24時間

ご相談対応 平日（土・日・祝及び弊社日以外）
9:00～12:00・13:00～19:00

上記時間帯以外のご相談（受付のみ）
●三菱電機お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-139-365（無料）

携帯電話・PHSの場合は
空メールの送り先 : fc8634@melsc.jp

FAX 0570-03-8634（有料）

受付時間365日24時間

7. 仕様

電圧100V

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VD-10Z12	7.2	9.3	90	95	24.5	25.5	1.9
VD-10ZJ12	7.2	9.3	90	95	25.5	26.5	2
VD-10ZT12	7.2	9.3	90	95	25	26	1.9
VD-10ZSJ12	13.5	16	125	130	28.5	29	2.2
VD-13Z12	13	15.5	125	130	28.5	29	2.2
VD-13ZT12	13	15.5	125	130	28.5	29	2.2
VD-15Z12	14	15.5	180	175	30.5	29.5	3.4
VD-15ZT12	14	15.5	180	175	30.5	29.5	3.3
VD-15ZP12	20	23	220	215	35.5	35	3.4
VD-15ZPT12	20	23	220	215	35.5	35	3.3

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】
※運転時間や温湿度などによる標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

・本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。

・「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示しております 【設計上の標準使用期間】15年 【設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。】		
■標準使用条件 JIS C 9921-2		
環境条件 電圧 単相 100V 定格電圧による 周波数 50Hzおよび60Hz 温度 20°C 湿度 65% JIS C 9603から引用		
設置条件 標準設置 据付説明書による 負荷条件 定格負荷 「7.仕様」による 想定時間 1年間の 使用時間 台所 2410時間/年 浴室 2193時間/年 トイレ 2614時間/年 浴槽 1671時間/年		
注*) 24時間換気のものは、8760時間/年とする。		

愛情点検		★長年ご使用の換気扇の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか？	スイッチを入れても羽根が回転しない。 運転中に異常音や振動がある。 回転が遅いまたは不規則。 (モーターはメンテナンスが必要な部品です) ごけついでおいがする。 本体据付部に腐食、破損などがある。	故障や事故防止のため、 電源を切って必ず販売店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。
お客様 メモ	形名 お買上げ年月日	年 月 日	使用 中止
サービスを 依頼されるとき 便利です。	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	()	この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができる ように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。 材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社

中津川製作所 T508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

据付説明書

1. 据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1. 安全のために必ず守ること」(表面)、据付手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2. 据付け前のお願い

△ 注意

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

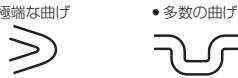
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高温(40°C以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉には据付けないでください。腐食(落下)、漏電(感電)、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。

据付位置

- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない位置に据付けてください。
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。

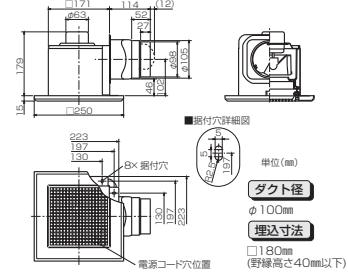


- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのペントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。

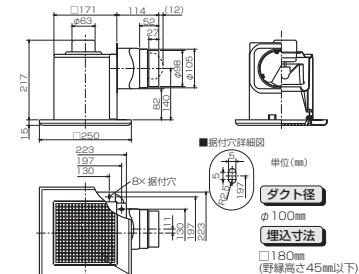
- 天井金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。
天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

3. 外形寸法図

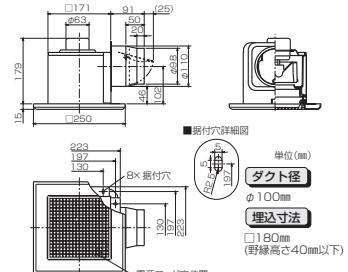
■VD-10Z12



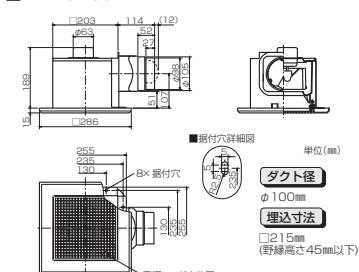
■VD-10ZJ12



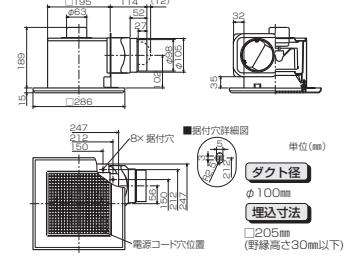
■VD-10ZT12



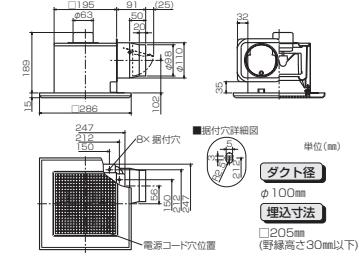
■VD-10ZSJ12



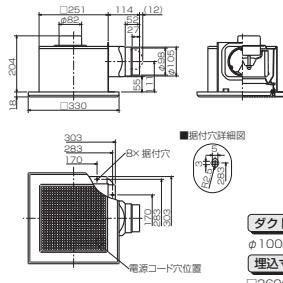
■VD-13Z12



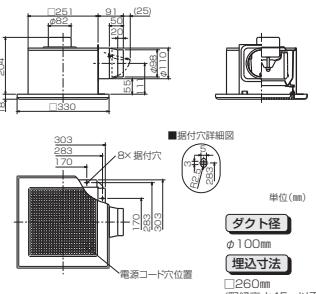
■VD-13ZT12



■VD-15Z12・VD-15ZP12



■VD-15ZT12・VD-15ZPT12



付属部品

木ネジ(ステンレス製) 6本



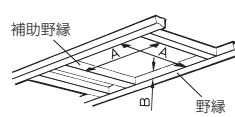
4. 据付方法

1 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)

2 野縁組立



内寸がA寸法、高さがB寸法以下になるよう天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。

(野縁高さをB寸法以上で据付けると、シャッター開閉不良、異常音の原因となります)

単位:mm

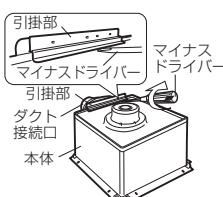
形名	A寸法	B寸法
VD-10Z12, 10ZT12	180	40
VD-10ZJ12	180	45
VD-10ZSJ12	215	
VD-13Zタイプ	205	30
VD-15Zタイプ	260	45

お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。

A寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合が発生します。

3 ダクト接続

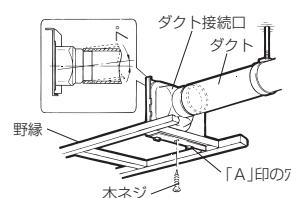


ダクト接続口の取りはずし

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。

お願い

- ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。



ダクト接続口の固定

- ダクト接続口をダクトに差し込み、野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮固定する。(A印の穴を使用)
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

お願い

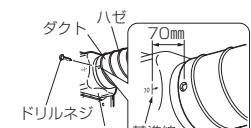
- ダクト接続口に無理な力が加わらないよう注意してください。(無理な力が加わるとシャッター開閉不良や風漏れの原因となります)

2 ネジでダクトを接続する場合

(ステンレスタイプは除く)

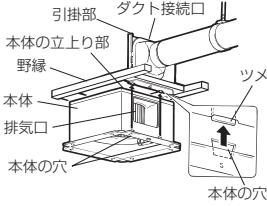
ネジによる接続

- 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。
- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



ダクト呼び径 φ100の場合		
ダクト外径(㎜)	100~105 (スパイラルなど)	106~110 (VPなど)
ネジ呼び長さ	10	13 16
電源コード穴位置	260mm (野縁高さ45mm以下)	260mm (野縁高さ45mm以下)

4 本体の据付け



本体の差し込み

●本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。

お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

本体の固定

(1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ5本で本体をすき間がないようにしっかりと固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)

- 天吊金具を使用する場合は、付属の木ネジ4本で向かい合う2辺の据付穴を使用し、固定してください。

(2) ダクト接続口を仮固定している木ネジ1本を締め付ける。

(3) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

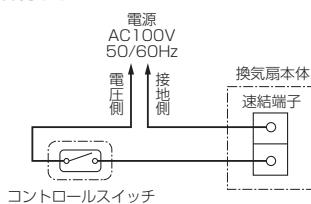
お願い

- 浴室などの設置で、据付穴から天井裏に湿気が漏れるおそれのある場合には、テーピングやコーティングなどにより据付穴を塞いでください。

5 電気工事

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

■結線図（太線部分を結線する）



■適応コントロールスイッチ

本体形名	コントロールスイッチ 形名	定格
VD-10ZJ12	P-11SW2	0.5A-AC300V
VD-10ZJ12		
VD-10ZT12		
VD-10ZSJ12		
VD-13ZJ12		
VD-13ZT12		
VD-15ZJ12	P-10SW2	4A-AC300V
VD-15ZT12		
VD-15ZP12		
VD-15ZPT12		

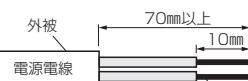
お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認の上、結線してください。

■結線の前に

お願い

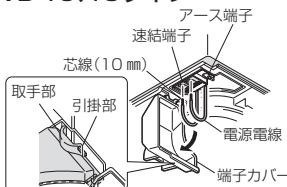
- 電源電線の外被は70mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法圖に合わせて皮むきすると便利です。（10mm以上むくと漏電の原因となります）
- より線を結線する場合は、棒状压着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。（压着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください）



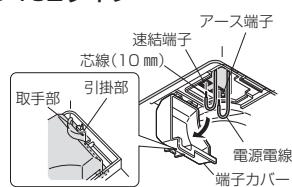
■結線方法

1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（下図参照）
3. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ず口種接地工事を行う。また、漏電ブレーカーを取付ける。
4. 端子カバーを元どおり取付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。

●VD-10、13タイプ

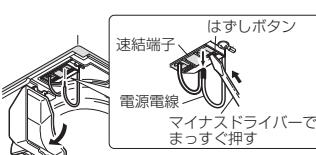


●VD-15Zタイプ

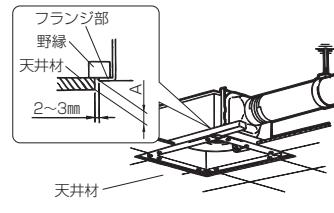


●電源電線をはずす場合

- マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずしてください。



6 天井材を張る



(1) 天井材を張る。

(2) 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があるよう角穴をあける。

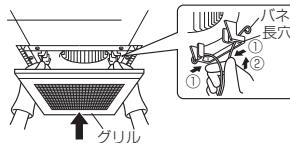
お願い

- 天井材の厚さは左図A寸法以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）

単位(mm)

形 名	A寸法
VD-10ZJ12, VD-10ZT12, VD-10ZSJ12, VD-13ZJ12, VD-13ZT12	20
VD-15ZJ12, VD-15ZT12, VD-15ZP12, VD-15ZPT12	25

7 グリルの据付け



- (1) グリルのバネを指先で縮め長穴に差し込む。バネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

天吊金具を使用する場合

下図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。

■VD-10タイプ

■VD-13タイプ

■VD-15タイプ

■P-03TK

■P-15TK

■P-15ZTK

■P-15ZPTK

■P-15ZPT

■P-15ZPT</h4